



## ガンバレ ガンバレ！

神瀬保育園運動会が、9月28日に旧神瀬小体育館で行われました。

「花は咲く、熱い神瀬は今でしょ！」のスローガンで園児29人も元気にがんばりました。

### 目 次

9月の定例議会	2~3
平成24年度決算状況	4
一般質問	5~9
みんなで盛り上げた運動会！	10

球磨村世帯数	1,591世帯
人口	4,227人 男：1,995人 女：2,232人
	(平成25年9月30日現在)

# 補正予算37,064千円を承認 高沢分館プール解体工事などに

## 9月 定例会



9月定例会は、9月9日から12日までの4日間の日程で開催され、平成24年度財政健全化判断比率及び資金不足比率についての報告、平成24年度一般会計及び特別会計決算の認定5件、財産の処分1件、条例の一部改正1件、平成25年度球磨村一般会計及び特別会計補正予算3件の11件を審議、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問では、田代利一議員、多武義治議員、毎床文博議員、高澤康成議員、舟戸治生議員の5人が登壇し、施策や行政課題など執行部の考えを質しました。

また、議員発議による「道州制導入反対に関する意見書」「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書」も原案のとおり可決し、総理大臣はじめ関係の各大臣に提出することになりました。

初日の9日には、犬童議長  
の開会宣言後、6月定例会以  
降の諸般の報告、多武議員に  
よる例月現金出納検査結果報  
告、また、人吉球磨広域行政  
組合議会の報告を愛甲議員が

行いました。

議案は、財源健全化法によ  
り、地方公共団体の財政状況  
を判断するため、財政健全化

判断比率の算定公表が義務付  
けられた平成24年度財政健全  
化判断比率及び資金不足比率  
について柳詰村長から報告が  
ありました。

平成24年度球磨村一般会計  
及び特別会計決算認定の上程  
後、豊永征介代表監査委員よ  
り、同歳入歳出決算審査結果  
等の報告が行われました。続  
いて、財産の処分、球磨村ひ  
とり親家庭医療費助成に関す  
る条例の一部を改正する条例

の制定、平成25年度球磨村一  
般会計及び特別会計補正予算  
が上程されました。

10日には、5名の議員が一  
般質問に登壇、フードバレー  
構想や遊休農地の活用、山林  
の固定資産税、村内交通体系  
の見直し、校庭の樹木伐採、  
瀬戸石ダム水利権、人材育  
成、野生獣被害対策、瀬亭管

理施設の今後、将来の取り組  
み、安心・安全で快適な暮ら  
しの環境づくりなど多岐にわ  
たって執行部の考えを質しま  
した。

11日には、平成24年度球磨  
村一般会計及び特別会計決算

が審議されましたが、決算認  
定書と共に提出された成果報  
告書の一部に数字の間違いが  
あり、暫時休憩の末、12日に  
延会することを決定し、閉会  
しました。

### 12議案を 慎重に審議

最終日の12日には、平成24  
年度球磨村一般会計及び特別  
会計決算5件を審議、いずれ  
も認定しました。

財産の処分、球磨村ひとり  
親家庭医療費助成に関する条  
例の一部を改正する条例の制  
定、平成25年度球磨村一般  
会計及び特別会計補正予算を審  
議後可決しました。

また、議員発議による「道  
州制導入反対に関する意見  
書」「森林吸収源対策及び地  
球温暖化対策に関する地方の  
財源確保のための意見書」も  
原案の通り可決しました。

# 予算

25年度一般会計(補正予算)

○補正額 37,064千円

○総額 3,113,350千円

主なものは、高沢分館プール施設解体工事費、小規模多機能型居宅介護事業所アットホームどんぐりへのスプリンクラー整備補助金、作業道開設委託料、楮木地区渡し船吊上げ機の撤去解体工事費等です。

25年度国民健康保険(補正予算)

○補正額 2,044千円

○総額 585,344千円

退職者医療交付金などの平成24年度事業費確定によるも



解体される高沢分館のプール

ので、納付金の追加や国等への返還金です。

25年度介護保険(補正予算)

○補正額 6,249千円

○総額 669,160千円

地域包括支援センター臨時職員賃金、24年度事業確定による返還金です。

# 報告

平成24年度財政健全化判断比率及び資金不足比率は、財政健全化法に基づき、球磨村監査委員の意見をつけて報告するもので、連結実質赤字比率、実質公債比率、将来負担比率は、いずれも早期健全化基準を下回る結果でした。詳しくは村広報誌(10月号)、ホームページで掲載されます。

# 決算認定

24年度一般会計

○歳入総額

3,436,922千円

○歳出総額

3,249,737千円

○実質収支額

97,265千円

24年度国民健康保険

○歳入総額

624,264千円

○歳出総額

592,068千円

○実質収支額

32,196千円

24年度後期高齢者医療

○歳入総額

52,909千円

○歳出総額

52,880千円

○実質収支額

29千円

24年度介護保険

○歳入総額

668,903千円

○歳出総額

661,822千円

○実質収支額

7,080千円

24年度簡易水道

○歳入総額

65,411千円

○歳出総額

50,879千円

○実質収支額

14,532千円

いずれも審議の結果、原案のとおり認定されました。

# 処分

○財産の処分

財産の処分に伴い議会の議決を求めたもので、村有林立木のスギとヒノキの処分です。

# 条例

○ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正

これまでの「父又は母」に、「法により保護命令を受けた児童」も支給対象として条文に追加されました。

# 意見書

○「道州制導入反対に関する意見書」

議員発議により、意見書を国に提出することになりました。

先の6月定例会でも可決し、道州制導入断固反対の意見書を国に提出しています。道州制導入を目指す法案の国会への提出の動きが依然として見られるため再提出するものです。

○「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書」

議員発議により、意見書を国に提出することになりました。「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を求めるものです。

## ズームアップ

実質赤字比率

一般会計等の実質赤字額の標準財政規模に対する比率

連結実質赤字比率

全会計を対象とした実質赤字額(または資金不足額)の標準財政規模に対する比率

実質公債費比率

一般会計等が負担する地方債元利償還金などの標準財政規模に対する比率

将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

# 平成24年度決算を認定しました 歳出 合計46億7百38万6千円



## 特別会計

### ■国民健康保険

歳入 …………… 624,264千円  
歳出 …………… 592,068千円

### ■後期高齢者医療

歳入 …………… 52,909千円  
歳出 …………… 52,880千円

### ■介護保険

歳入 …………… 668,903千円  
歳出 …………… 661,822千円

### ■簡易水道

歳入 …………… 65,411千円  
歳出 …………… 50,879千円

## 歳入

村 税 ……………	245,752千円
地方譲与税 ……………	37,648千円
地方消費税交付金 他 ……	40,698千円
地方交付税 ……………	1,983,305千円
分担金及び負担金 ……………	17,662千円
使用料及び手数料 ……………	26,791千円
国庫支出金 ……………	306,663千円
県支出金 ……………	269,308千円
財産収入 ……………	41,573千円
寄付金 ……………	520千円
繰入金 ……………	30,287千円
繰越金 ……………	94,485千円
諸収入 ……………	24,314千円
村 債 ……………	317,916千円

計 3,436,922千円

## 歳出

議会費 ……………	62,458千円
総務費 ……………	739,281千円
民生費 ……………	771,868千円
衛生費 ……………	225,850千円
農林水産業費 ……………	308,497千円
商工費 ……………	13,717千円
土木費 ……………	217,307千円
消防費 ……………	127,984千円
教育費 ……………	281,408千円
災害復旧費 ……………	167,091千円
公債費 ……………	334,276千円

計 3,249,737千円



村議会の優勝でした。

9月27日、球磨村総合運動公園で、下球磨町村議会議員親善グラウンドゴルフ大会が行われました。当日は、天気にも恵まれホールインワンがでると、チームごとに大きな歓声が上がっていました。その後、かわせみで表彰式と懇親会が行われ、団体戦・個人戦ともに球磨村議会の優勝でした。

下球磨議員  
グラウンドゴルフ大会を  
球磨村で開催

# メガソーラー事業の経済効果は

【答】工事の地元業者への発注や管理面の委託事業が予定されている

**田代 利一 議員**

- 一、フードバレー構想について
- 二、遊休農地活用について
- 三、メガソーラーについて

**田代議員** 熊本県は、今県南に向

いている。その代表格が県南フードバレー構想だ。このチャンスに、球磨村も乗らない手はない。しかし、フードバレー推進協議会に、本村から加入しているのは2団体のみである。この構想に対し、村長はどのような姿勢で臨まれるのか。

**柳詰村長** 村としては、農産物の

加工及び、特産品の開発や販路の拡大など6次産業化を推進することとしている。今後、流通も含めた、あらゆる方々の参加をお願いしたいと考えている。

**田代議員** これから、フードバ

レー構想について説明などあると思うが、他の団体も加入していたら、村の活性化につながればと思っているが。

**柳詰村長** この構想の大きなこと

ろは食に関するところで、6次産業化で販売につなげることが大切だ。ただ、球磨村は他の地域から比べれば条件がよくない。そこで、木製品や木炭など球磨村の特性を生かすことで、この構想に加入していくことも重要だ。

**田代議員** 次に、棚田応援隊の草

刈りなどによって、遊休農地が解消され、少しずつではあるが活気を取り戻した地区も出てきている。報告では、9ヘクタールの遊休農地が解消され、その内2ヘクタールで作付されている。それは、どのような作物か。また、荒地対策についても伺う。

**柳詰村長** 平成23年度から、棚田

応援隊を組織して遊休農地の草刈などを実施して、その解消に取り組んできた。解消された農地は9ヘクタールで、その内2ヘクタールにインゲン、甘長トウガラシ、茎ワサビなどが作付されている。また、遊休農地がふえることでイノシシやシカのみかとなって、農作物への被害が生じる悪循環も生まれる。そのた

めの対策として、草刈りをすることは大事なことだと思っている。

**田代議員** 次に、球磨村と業者と

の間で、メガソーラー発電所の建設事業に関する協定書が結ばれた。着工が今年の11月で、発電開始時期が平成26年4月と聞いている。そこで、メガソーラーの設置方針と設置が予定されている大無田地区への説明会の内容を伺う。

**柳詰村長** 熊本県では、全国に先

駆け新たなエネルギー政策の方向性を示す計画が策定された。その取り組みの一つが、メガソーラーの誘致事業である。本村でも、遊休村有地の有効利用を気にかけていたので、佐土野高原の村有地を候補地として、県のホームページに掲載した。その結果、希望事業者が決定し、現在に至っている。村へのメリットも大きいようだし、本村への誘致企業として、ぜひ成功していただきたい。

**部総務企画課長** 大無田地区へ

は、7月29日に事業の概要や村へのメリット、今後のスケジュールにつ

いて説明を行った。

**田代議員** 企業誘致が厳しい中、

本当によかったと思っている。メガソーラー事業の経済効果については、どのように考えているか。

**部総務企画課長** まず、土地貸付

料が年間396万円程、あと施設の固定資産税や法人税が見込まれる。その他、工事については、地元業者にお願いと聞いている。また、管理面での毎年の草刈りやパネルの清掃なども、地元へ委託する予定になっている。

(質問時間60分)



メガソーラー建設予定地の佐土野高原 (大無田地区)

# 共有林の固定資産税を分割課税方式に

〔答〕納税通知だけでも共有者全員に通知できないか検討する

## 多武 義治 議員

- 一、山林の固定資産税について
- 二、村内の交通体系の見直しについて
- 三、校庭の樹木伐採について
- 四、来年3月切れる瀬戸石ダム水利権に関する考え

## 多武 議員

共有者の多くが地区から転出され、代表者の方が集金に困っている話をよく聞く。中には集金できず、代表者が立て替え払いをしているケースもあるようだ。できるものから、共有者それぞれに課税する分割課税方式にかえるべきだ。

## 柳詰 村長

代表者の方へは、共有者全員の連絡や取りまとめに、大変ご苦労いただいている。今後は、地方税法なども照らし合わせ、納税通知書だけでも共有者全員に通知できないか検討したい。

## 多武 議員

これまでの一般質問で、税金の基礎となる土地評価額が高いので、実際の価格に下げることができると言ってきた。これをうけて、平

成24年度から評価額を一律34.5%減額された。しかし、問題なのは、いまだに地域ごとに8区分の評価額があり、いちばん安い区分と高い区分に18倍もの差がある。昔なら説明がついていたが、現在の状況では説明がつかない。

## 永椎 税務課長

山林の土地評価には、地域ごとに8つの区分がある。私的な意見になるが、現在は、山林の評価に関して言われたとおり、その大差はないと思う。今後の検討課題とさせていただきたい。

## 多武 議員

実際の山林の土地取引額は、1ヘクタール3万円から5万円ぐらいと思う。そこまで落とすことはないが、今の評価額のいちばん安い102,000円にあわせるべきで、正しい方向に訂正することも必要だ。

## 柳詰 村長

関係機関に指導いただきながら、考えたい。

## 多武 議員

次に、渡小学校の樹木の整備が行われた。特に、長きにわ

たり児童を見守り続けたクスノキの大木も、枝のほとんどが切られ、幹が地際より数メートル残るだけになっている。結果、日かげがなくなり、安らぎがなくなる。これまでの学校のシンボルだっただけに残念に思った。その後、学校の様子を見てどのように思ったか。

## 柳詰 村長

実施に当たっては、学校と協議しながら、まずは児童の安全確保を第一に考えた。渡小学校のシンボルとなっているクスノキやイチヨウは、少し切り過ぎたきらいはあったが、伐採後、木の芽の成長も旺盛で、末永く成長してくれるものと思っている。

## 多武 議員

切り過ぎたという感想だったが、このことは、良いとか悪いとかの問題ではない。教育は、感性が大切だと思う。こういった、樹木伐採についても、私は感性が必要ではないかと思っている。教育長の感想は。

## 中根 教育長

過去にも伐採し、そ



来年3月に水利権が切れる瀬戸石ダム

の後枝が伸びてきたので、今回思いきって切った。確かに、少し切り過ぎたという思いは村長と同じだ。言われるとおり、学校の教育環境の一つとして、日かげや安らぎの重要な意味を持っている。今後は、慎重に進めていく。ただ、今のところ伐採に対する苦情や意見はない。

## 多武 議員

苦情や意見はないとのことだが、地域の方がどう思っているか、心の中を読む感性も必要ではないかと思う。最後に、来年3月切れる瀬戸石ダム水利権に関する考えを伺う。

## 柳詰 村長

関係機関からの話がないので、意見を申し上げる立場がない。

(質問時間50分)

# 職員は、村長の指導方向を自覚し、行動しているか

**答** 職場環境の改善策や地域の活性化を図る提案活動を行なうなど、資質の向上につながっている

## 毎床 文博議員

- 一、人材育成の検証について
- 二、野生獣被害対策について
- 三、熊本県南フードバレー構想について

## 毎床議員

村長は、人材育成の方向性として、村民ニーズを理解し、村民の信頼に応え、自己啓発に努める職員育成と、地域に積極的に出向き、活性化につながるよう指導したいと応えられているが、職員は村長の指導方向を自覚し、行動しているのか成果について伺う。

## 柳詰村長

人材育成は、いかにして研修の成果を村民にお返しできるか、村の活性化にどう繁栄させていくことができるかと思う。成果としては、自主的に若手職員による勉強会が立ち上がっており、職場環境の改善策や地域の活性化を図ろうと職員のほうから提案があり活動を行っており、徐々に資質の向上につながっていると思う。

## 毎床議員

新人中堅職員など各々

クシヨンにあった、教育、研修を実施されているが、公務員としての礼儀、自覚、住民対応、意欲向上は課内での指導教育に影響されると思う。前回と、どのように変わってきたか成果について伺う。

## 大瀬健康衛生課長

研修報告で、住民へのアプローチとして、早期発見、早期介入への重要性及び生活習慣の改善を中断しないようにフォローしていくことが私たちの役割であり、自己研さんしていくとの報告があり、このようなあり方を理想としている。

## 毎床議員

仕事の厳しさも必要だが、課の職員の挨拶や外出時での対応をどう捉えているのかを伺う。

## 日當教育課長

課内職員の指導や態度をみることでできたか、自身自身の資質向上があったかどうかと、自分が仕事上でも多いが、礼節はできていると観察している。

## 瓜生住民福祉課長

各職員が目標

に向かうためには、どのような努力をするかを明確にするため、1、目標、2、目標に近づくための努力を文書化し、3月に目標が達成できたか自己研さんをして次の目標につなげる。また、各事業のミーティングを行い、情報の共有、意見、協議をして方向性を考察している。

## 毎床議員

課長を中心とした体制の中で活動の目的、目標の方向性を示し、会議、研修がマンネリ化しないように、常に職員の自覚、自己啓

発を高め、村の活性化につながることを希望する。

次に、野生獣は農林産物のほとんどに被害を与え、本村でも捕獲事業で対策を講じているが、依然として被害は続いている。今後は駆除隊員の高齢化などで捕獲数の減少も懸念されるが、新たな対策について伺う。

## 柳詰村長

捕獲の面では年間を通じた駆除隊による有害捕獲の実施、防護の面では獣害対策施設整備事業で電気柵の補助、国の交付金を活用した共同での有害獣侵入防護柵の設置を実施している。なお防護柵については農作物の被害がほとんどなくなったとの話を聞いている。

## 毎床議員

国の交付金活用の防護柵は、資材費の全額補助で効果も高く大変評判も良いようだが、設置面積は増加しているのか。

## 宮本産業振興課長

平成23年度は距離で5,000メートル強。平成24年度は金網柵、電気柵、ネット併用の電気柵の合計で4,930メートル。平成25年度は同種類合計で6,171メートルを予定している。

(質問時間60分)

効果が期待される防護柵



# 球磨村活性化戦略室の設置は

〔答〕大きな事業の時はプロジェクトチームを作り対応している

高澤 康成 議員

一、指定管理施設の今後の考え  
二、将来を見据えた取り組みについて

高澤議員

指定管理施設に対する

今後の考えについて、これまでに幾度となく問題提起をし、解決策を見出すべく質問をしてきた。平成24年6月定例会では収支におけるチェック、重点化事業の計画と予算編成、執行、費用対効果の診断、評価に基づく次年度の予算編成、住民へ説明義務を果たす事も何より重要だと言う事。平成25年3月定例会では、指定管理者制度による経営失敗の要因について

①官民の馴れ合い体質によるリスクの配分

②投資と管理費に曖昧性がある事

③地域における政治的圧力を通じた過大投資・情報公開の不備による

説明責任の欠如

ほかにも各議員からの質問や、改善策があったものの改善や決意も感じず、収支における将来的計画の不透明が信頼を失墜させている。6月議会広報による指定管理施設の、委託料や運営に対したくさんの方よりお叱りを頂いた。赤字決算が続く中、その責任についても住民より指摘があり、今後出資金のあり方や取締役のいちづけを明確にする必要がある。今後、住民の不安や不満を軽減する為に、きちっとした指定管理施設及び公設公営の運営や責任について答弁を求める。

柳詰村長

村の温泉資源の財産、また観光資源でもあり、村の顔としての位置づけも大きいものがある。何としても赤字解消に努めるべく従業員、役場も一丸となって取り組みたい。また、住民一人一人が株主でありますのでサービス向上も合わせて協力を頂けるよう展開し、黒字に転じるよう努力する事が私の責任だ

高澤議員

田舎の体験交流館さんがうらの考えは。

柳詰村長

指定管理者制度になるよう、進めていきたい。

高澤議員

現在、行政が行っているさまざまな事業の進捗状況や将来における課題や問題点などを踏まえ事業を行っているものがある。しかし、将来を見据えた、今出来る事業の計画や予算など計画初期段階においての議会への説明はあるものの、中間計画報告が乏しく、最終段階においてやっと説明がなされる。本当に、その計画で大丈夫なのか心配する事もある。将来の球磨村の住民・行政・議会がともに共通理解し、進めて行くことが必要だ。また、若者との対話をしてきた中で、問題点などのような形で繁栄させていくか。誇りを持つ村づくりを実現させるため、球磨村活性化戦略室の設置も必要と考えているが。

柳詰村長

現在、行政改革、財政改革を推し進めている。自主財源の低さから、どうしても依存財源に頼らなければならない状況だ。大きな事業に進む時は、関係各課一体となりプロジェクトチームを立ち上げ問題に対応しており、今の体制で進めさせて頂きたい。このまま人口減少が進むと、役場の課の再編も視野に入れなければならないと思う。何としても健全財政を維持し、将来へ引き渡し、村民の幸福を実現するのが私の使命であるので、精一杯努力していく。



オープン17年目の一勝地温泉かわせみ

(質問時間60分)

# 渡駅周辺の環境整備は

## 〔答〕 駅舎の購入や駐車場の舗装も視野に

### 舟戸 治生 議員

一、安心安全で快適な暮らしの環境づくりについて

**舟戸議員** 〓 住民の暮らしの環境を快適なものにしていくには、生活基盤である道路の整備は大変重要である。渡地区の村道地の内山口線の整備、小川地区公民館下の道路拡幅。茶屋地区の元病院から国道までの整

備。鵜口地区の孤立解消の手立てについて伺う。

### 柳詰村長

〓 村道地の内山口線は主に小学生の通学のほか、道路沿い農地の耕作に利用され、道路の高さが国道より低いため、洪水時内水の氾濫により冠水など、渡地区の総合的な治水対策の中で、農地所有者の方々と現地立ち会いを行い、共通理解を進めながら実施したい。小川公民館付近の55メートル区間については、未改良区間ではあるが、土地所有の理解があれば、担当者に、相談を検討させる。茶屋地区の元病院から国道までの整備は、総合的な治水対策の中で避難経路について地域の住民の方々と協議しながら進めたい。鵜口地区の村道熊田線が洪水により道路が冠水し、孤立するので要望道として国、県へ申し入れを行なっている。渡地区の総合的な治水対策の中で、協議し検討したい。

### 舟戸議員

〓 球磨村の玄関口、渡駅

広場の整備は、地域住民にとって快適でなければ、来訪者にも魅力として映らないと思うが。

### 柳詰村長

〓 渡駅は、本村の人吉側からの玄関口、球磨川下りの発船場が近く、観光客の利用が多いことで、昨年快適に使用できるトイレを整備した。肥薩線の世界遺産登録への推進の取り組みを行っており、JRと協議する場が多く、渡駅前の整備や、肥薩線沿線の景観整備、特に渡駅周辺の舗装や、環境整備に努めたい。駅舎についても、JRからの払い下げの協議が来ている。

### 舟戸議員

〓 駅前広場には、村の福祉バスも三ヶ浦線、大槻線が停まるので、待合のベンチの設置も望む。

次に、村の施設の、ふるさと文化交流館、多目的集会施設、村営住宅の整備や活用について伺う。

### 柳詰村長

〓 ふるさと文化交流館は、建築以来24年が経過、以前はホテルコンサートや大鮎釣り大会のレ

セプション会場として利用していた。現在は、利用する機会がなく、鳩の糞害で不衛生な状況であるが、隣接する振興センター特産品加工室と協議し、郷土料理をつかった簡単な昼食や、縁がわカフェとして試験的に取り組む。諸施設について、軽微な修繕等については、その都度対応する。公営住宅、単独の住宅については、長寿命化の計画をすると補助事業があるので、来年度は取り組んでいく。

### 舟戸議員

〓 球磨村総合運動公園や学校などの、村の諸施設の管理不行き届きなどで、けがなどの対応と責任問題についてはどう考えているか。

### 柳詰村長

〓 毎年1回、専門業者に委託し、劣化診断を行っている。各学校の運動場遊具については、毎月1回、学校教諭が点検している。その事故が、業務遂行上の過失に起因する事故である場合、全国町村会総合賠償補償保険制度で対応し、学校施設、学校行事の事故については、独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全災害共済給付制度で対応する。

(質問時間60分)



幅員が狭い小川地区内の村道



# 「みんなで盛り上げた 運動会！」

渡保育園 園長 上田 博孝



今年も盛会のうちに終わった運動会。いろいろな人たちのおかげでできたことに感謝です。もちろん、運動会の主役は子どもたちです。ゴールまで気持ちを切らさずに走りきったこと、力を合わせてひとつのバトンをつないで走ったこと、心を合わせて見事な演技を見せた遊戯など、子どもたちの活躍には感動しました。会場に来られたたくさんの方の応援に力をもらいました。なかでも紅白リレーでは、家族席から熱

い声援を受けながら力にかえて走っていました。また、あおむし応援団の皆さんからもたくさんの方の力を得てできたことは、たいへん素晴らしいことでした。

「球磨村のお宝登場」では、子育て中の方や妊娠中の方に参加していただき、ほのぼのとした雰囲気でもよかったですね。このように渡保育園の運動会を盛り上げていただいた方々みんなに感謝。そして、何ととってもさくらドームで運動会ができたこと。天候で開催が左右されることもなく、しかも土の上で出来るなんてなんとすばらしいことでしょう。会場使用にご協力いただいた方々にも感謝感謝。このように多くの方々のおかげで開催でき、子どもたちもさらに一回り成長した姿がみられたことがなによりうれしく感じた今年の運動会でした。

## 編集後記

言葉にも方言があるように、木にも球磨村独特の方言があります。たとえば、牛のエサに利用していたアオキのことをヤマダケと言ったり、お墓などに供える、ヒサカキのことをケダノキと言ったりしています。また、カシの木の仲間で、正しくはシラカシのことを葉っぱの色が青いのでアオガシと言ったり、ウラジロガシのことを葉っぱの裏が白いのでシラカシと、葉っぱの色で方言になったと思われるものもあります。方言を知っている人は昔、山仕事を経験した人に限定されるようです。木の方言も、時代とともに忘れられていくのかもしれない。

(多武 義治)

- 広報委員長 多武 義治
- 広報副委員長 高澤 康成
- 広報委員 毎床 文博
- 広報委員 嶽本 孝司